

## 初めての開催 講演会・懇親会・現地視察と内容豊富

上 田 善 弘

今年、全国的な「花葉サマーセミナー」が都合により開催されないため、生産者を中心とした会員の多い東海地区でサマーセミナーに替わるものが開催できないかということが幹事会で議論された。その提案を持ち帰り、東海地区の幹事4名で検討した。ただ、時間的にも花葉会会員以外にまで広く募るセミナーの開催はとても無理という結論にいたった。それなら、私自身も考えていたことであるが、東海地区には若い会員で花き生産に従事している者が多いので、彼らを中心に集め、互いの交流を深めようということになった。

早速、参加者を募るべく、先ず先進情報の提供のため、各業界から1名ずつ4名の講師による講演、終了後に懇親会を行い、宿泊された方々には翌日に豊橋地域の視察を行っていただくような内容で計画した。この計画について、幹事会の了承をいただき、東海地区を愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の4県に限定し、この地区の会員と幹事に開催案内を花葉会事務局より送付していただいた。この東海地区には137名の会員が在

籍し、このうち約67名が花きを主とする生産者である。さすがに愛知県という花の生産県を抱えた地域である。若い生産者も多いので、新旧会員を集め、幅広い交流を行う予定であった。ところが、なかなか参加者が集まらず、幹事の豊明花き㈱の福永哲也氏からも個別に勧誘をお願いし、人を募った。大学からも國分尚准教授、大阪からは富山昌克幹事にもご参加いただき、20名の参加となった。開催日は、6月22・23日、会場は、蒲郡市三谷温泉のホテル明山荘で行った。

### 講演会

講演会では、先輩の長良園芸会長、安藤正彦氏と各幹事が得意な分野で以下のような講演を行った。

「小売り業界からみた園芸の現状と将来展望」

長良園芸 取締役会長 安藤 正彦

「最近のバラ産業の動向」

岐阜県立国際園芸アカデミー 学長 上田 善弘

「花市場が目指す花きの輸出戦略」

豊明花き株式会社 代表取締役社長 福永 哲也



講演会 講師は安藤正彦氏

## 「最近の都市における空間緑化事情」

株式会社プラネット 代表取締役社長 大林 修一

安藤氏は長年に渡り、ガーデンセンターを経営されて、植物への造詣の深い大先輩である。2010年にその功績により花葉会賞も受賞されている。今回、安藤氏からは小売りの立場から、園芸の現状を伝えていただき、それではどうすべきか、その将来展望についても語っていただいた。安藤氏は「園芸の原点は自然を感じられること」と考えていて、これからの園芸がその原点に立ち戻って、自然志向に向かうことを願っておられた。

続いて、筆者が最近のバラ業界の状況について話をさせていただいた。日本の切り花バラ生産は、1980年代における仕立て法、アーチング法の開発により飛躍的に増加したが、2000年をピークとして減少し続け、現在、生産面積は約400ha、出荷数量は約2億9千万本となっている。国内生産減少の理由としては、海外からの輸出攻勢、切り花バラの卸売単価の頭打ちがあり、また、輸入品の品質が向上し、国産品と輸入品の価格差が縮まっていることを紹介した。切り花の輸入では、ケニヤ産の比率が高く、実際に視察に訪れたケニヤの生産状況を紹介させていただいた。もう一つのバラ業界である、ガーデンローズの日本での状況、世界の動向についても、加えさせていただいた。

福永哲也氏には、現在、豊明花き(株)が進められている日本産花きの輸出戦略について話していただいた。アジアの富裕層へ日本産花きを輸出し販売するべく、物流の拠点である香港とシンガポールで日本産花きの展示会を開催しアピールしていることを紹介していただいた。これからの花き輸出戦略として期待が膨らむ内容であった。

大林修一氏には、(株)プラネットが進めておられる先進的な都市における幅広い緑化戦略、園芸普及活動に



懇親会



現地視察でガーデンセンターへ

ついて紹介していただいた。自社で開発されてきた壁面緑化技術の紹介、最近始められた、市街地の屋上での貸し農園、その活動を通しての家庭への園芸普及までの多岐に渡る戦略を熱く語っていただいた。また、緑の効用の科学的な証明を利用した、オフィス緑化の推進についても紹介していただいた。

上記、4氏の話提供に対し、参加者から質問をいただき、議論を行った。

## 懇親会

講演会にて新たな情報を得た後は、懇親会にて会員相互の親睦を図った。今回の初会合では、昭和19年農芸化学科卒の大先輩、名古屋市在住の稲垣弘三氏にもご参加いただき、最長老(90歳)ということもあり、乾杯の音頭をお願いした。稲垣氏は、今も東山植物園の園芸相談員としても活躍されている。その後、各会員から自己紹介をいただき、なごやかななか、世代間を越えた交流が図られた。

## 現地視察

研修会2日目は、豊橋地区で現地視察を行った。豊橋市郊外のガーデンセンター2か所と大林幹事経営の(株)プラネットの農場を視察した。ガーデンセンターは大型の園芸専門店、「ガーデン&ガーデン」とイシグロ農材(株)経営の「くくむガーデン」であった。

(株)プラネットでは、現在進められているLED照明を用いた野菜工場試験やハイドロカルチャーによる観葉植物を主とする様々な植物生産の現場を視察させていただいた。

以上、初めての中部・東海地区交流会でしたが、内容の濃い研修、交流会で、来年も開催してほしいという声が大きかった。